泉の森における哺乳類・鳥類相の調査

児嶋　翼
（公益財団法人トトロのふるさと基金　調査部会）

要旨

本調査では、トトロのふるさと基金として管理方針を作成するため、2021 年 12 月 11 日～2022 年 4 月 25 日の間、泉の森とその周辺にて初めて動物調査を行った。調査方法は赤外線センサーカメラを使ったものと、踏査による動物の痕跡調査を行った。両調査の結果、未確定を含むが哺乳類では 5 種、鳥類では 25 種確認された。哺乳類では外来種が多く確認され、また、外来種哺乳類により捕食されたと思われる鳥の痕跡も確認された。絶滅危惧種に指定された鳥類も確認されている。泉の森は藪環境を好む貴重な動物が生息しており、それに伴った猛禽類を含めた生態系が育まれていることがわかる。今後の管理として、貴重な動物を保護する観点から現状の環境を維持することが必要であり、継続した動物調査が重要であると考える。

キーワード：藪環境；管理方針；絶滅危惧種；赤外線センサーカメラ

はじめに

トトロのふるさと基金では、過去に狭山丘陵とその周辺での動物調査はいくつか行われている。例としては、試験的ではあるがセンサーカメラを使った哺乳類調査（横山 2013）やシャーマントラップを使ったネズミ類調査（石井 2013）が、当基金の事務所でもあるクロスケの家の敷地内で行われている。

トトロのふるさと基金では、今まで植生調査の結果を元にトトロの森の管理方針を策定してきたが、動物の調査結果を元とした管理方針を作成してきたことがない。この度、既に取得しているトトロの森 44 号地に近接した 54、55、59 号地の取得が行われ、一体としての管理方針を作成することとなった（今後のこの一帯の森を「泉の森」と呼ぶ）。脇には大川が流れ、この川は動物たちの回廊としても使われている可能性もある。また、北側にはグラウンドが隣接しており、猛禽類の狩場としても使われている可能性がある。この様な環境であることから、本調査で初めて管理方針を作成するための動物調査を行うこととした。

調査方法

・赤外線センサーカメラによる調査

トトロの森 54 号地を調査地とした。主にモウソウチクとスギ、コナラなどの樹木とアズマネザサなどの下層植生で構成された森である。使用機材は赤外線センサーによる自動撮影機能搭載のカメラ「サンワサプライ 400-CAM067」1 台、「LtI-Acorn 6210MC」1 台の 2 機種を使用した。設置期間は 2021 年 12 月 11 日～2022 年 4 月 25 日。設置場所は竹が倒れ、付近に哺乳類のふんがあ

った場所（哺乳類のふんポイント）、動物の水浴び用に水を溜めたプラふねを設置した林縁（プラふねポイント）、けもの道沿い（けもの道ポイント）の計 3 カ所を設置場所として選定した（図 1）。それぞれ、時期を変えて、カメラ 2 台をローテーションして撮影を行った。また、回収は 2 カ月に 1 回程度の頻度で行った。撮影された動物は、調査部会員の協力のもと行い、記録した。

・踏査による動物の痕跡調査

定期的に泉の森周辺を踏査し、動物の痕跡を確認し、痕跡の種類、日時、場所を記録した。

調査結果

センサーカメラで撮影された動物一覧を表 1 にまとめた。撮影された動物の写真を図 5 にまとめた。また、踏査による動物の痕跡情報一覧を表 2 にまとめた。両調査では未確定を含むが、哺乳類では 5 種、鳥類では 25 種確認された（同定不可の種については除外している）。

考察

・哺乳類

センサーカメラでは在来哺乳類はホンドタヌキと、未確定ではあるもののアカネズミらしき個体の 2 種を記録した。アカネズミらしき個体については、当該地ではアカネズミ以外は記録されていないこと（佐藤 2023）、本種が好む藪環境（関島 1999）で確認されていることから、アカネズミの可能性があるとして記録した。ホンドタヌキでは特に疥癬病にかかった個体が目立ち、近隣の哺乳類への病気の蔓延が気になる。外来哺乳類では、ハクビシン、イエネコ、特定外来生物であるアライグマが確認されている。特に倒れた竹の上など、イエネコと野鳥が同一の場所を利用している状況がセンサーカメラで確認されており、バッティングした際にイエネコに捕食される懸念がある。実際に 2022 年 1 月 25 日には、付近で哺乳類によると思われるキジバトの羽の食痕が見つかっている。

・鳥類

センサーカメラではシロハラやアカハラ、アオジ、ウグイス、キジバト、ヒヨドリなどが多く確認された。また、埼玉県では絶滅危惧種に指定されているヤマシギ、トラツグミ（埼玉県 2018）が確認されている。他にも比較的珍しいマミチャジナイも確認されている。外来種では、ガビチョウ、コジュケイが多く確認されている。残念なことに一番多く撮影されているのも上記2種の外来種であった。

踏査での調査では、猛禽類による鳥の羽の食痕が多く確認されている。主にキジバト、シロハラなどの藪を好む中型鳥類の食痕が多い。トトロの森 54 号地の北側に位置するグラウンドでは猛禽類に捕食されたツツドリと思われる羽の食痕も見つかっている（図 4）こういった中型鳥類は、猛禽類の重要な餌資源となることが知られている（関東森林管理局 2007）。また、2021 年 8 月 5 日には付近の樹上で休憩するツミも確認されている。

以上のことから、泉の森は藪環境を好む動物が集まり、それに伴った生態系が育まれていることがわかる。今後の管理として、希少な動物を保護する観点から現状の環境を維持することが必要であると考える。また、環境や動物相の変化をいち早く検知し、外来種対策などの対応を行えるよう、今後の定期的な動物相調査は重要となってくる。

引用文献

石井陽一（2013）クロスケの家周辺におけるアカネズミの調査．トトロふるさと財団自然環境調査報告書 10：38-39.

関東森林管理局（2007）オオタカ等の保護と人工林施業等との共生に関する調査研究・その 2：83

埼玉県（2018）埼玉県レッドデータブック動物編（第 4 版）https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/129694/11reddatabook-chourui.pdf.　2022 年 8 月 5 日にアクセス

佐藤ひな子・早川直美（2023）泉の森のネズミ調査．トトロふるさと財団自然環境調査報告書 17：90-92.

関島恒夫（1999）ヒメネズミ *Apodemus argenteus* とアカネズミ *A.speciosus* の微生息環境利用の季節的変化

横山伸夫（2013）クロスケの家におけるセンサーカメラによる夜間生物調査．トトロふるさと財団自然環境調査報告書 10：43-49.

参考文献

高田勝・叶内拓哉（2004）羽原寸大写真図鑑

永井真人（著）（2014）♪鳥くんの比べて識別！野鳥図鑑 670

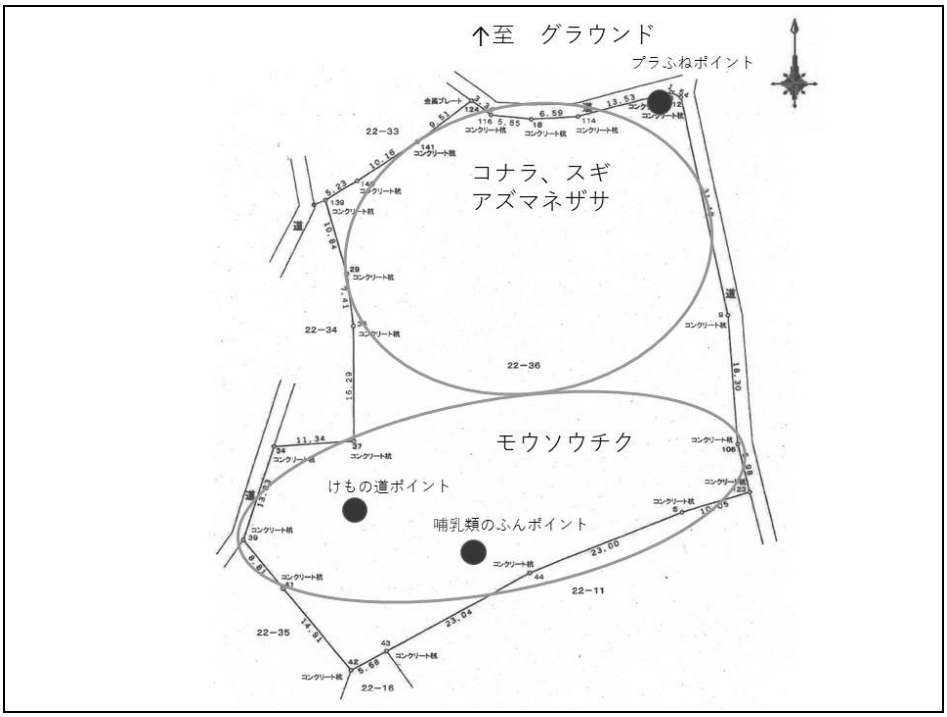

図 1　センサーカメラ設置位置図

表 1 センサーカメラで撮影された動物一覧

	科名	種名（学名）
鳥類	ハト科	キジバト（*Streptopelia orientalis*）
	ヒタキ科	ルリビタキ（*Tarsiger cyanurus*）未確定
		シロハラ（*Turdus pallidus*）
		アカハラ（*Turdus chrysolaus*）
		トラツグミ（*Zoothera aurea*）
		マミチャジナイ（*Turdus obscurus*）
		キビタキ（*Ficedula narcissina*）
	チメドリ科	ガビチョウ（*Garrulax canorus*）
		カオグロガビチョウ（*Garrulax perspicillatus*）
	キジ科	コジュケイ（*Bambusicola thoracicus*）
	シジュウカラ科	シジュウカラ（*Parus minor*）
		ヤマガラ（*Sittiparus varius*）
	メジロ科	メジロ（*Zosterops japonicus*）
	ウグイス科	ウグイス（*Horornis diphone*）
	ホオジロ科	アオジ（*Emberiza spodocephala*）
		カシラダカ（*Emberiza rustica*）
	アトリ科	シメ（*Coccothraustes coccothraustes*）
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ（*Hypsipetes amaurotis*）
	キツツキ科	コゲラ（*Dendrocopos kizuki*）
	シギ科	ヤマシギ（*Scolopax rusticola*）
	カラス科	ハシボソガラス（*Corvus corone*）
哺乳類	イヌ科	ホンドタヌキ（*Nyctereutes procyonoides*）
	ネコ科	イエネコ（*Felis silvestris catus*）
	ジャコウネコ科	ハクビシン（*Paguma larvata*）
	アライグマ科	アライグマ（*Procyon lotor*）
	ネズミ科	アカネズミ（*Apodemus speciosus*）未確定

図 2 ツツドリと思われる猛禽類による羽の食痕（調査部会 鈴木仁氏撮影）

表 2　踏査による動物の痕跡情報一覧

日時	場所	痕跡の種類
2020/11/20	54号地	ドバトの羽（猛禽類の痕跡）
2020/12/26	54号地	キジバトの羽（猛禽類の痕跡）
2021/1/20	54号地	シロハラの羽（猛禽類の痕跡）
2021/3/27	54号地	コガモの羽（猛禽類の痕跡）
2021/5/11	グラウンド	ツツドリの羽（猛禽類の痕跡）
2021/8/5	44号地	ツミ1羽目撃
2022/1/25	54号地	キジバトの羽（哺乳類による食痕の可能性あり）

2021 年 12 月 18 日　キジバト

2021 年 12 月 13 日　ルリビタキ？

2021 年 12 月 18 日　キジバト拡大

2021 年 12 月 13 日　ルリビタキ？拡大

2021 年 12 月 15 日　ホンドタヌキ

2022 年 1 月 19 日　ホンドタヌキ疥癬病

2022 年 1 月 23 日　イエネコ

2022 年 1 月 28 日　シロハラ

2022 年 4 月 9 日　イエネコ

2022 年 4 月　アカハラ

2021 年 12 月 18 日　トラツグミ

2022 年 1 月 23 日　イエネコ

2022 年 1 月 3 日　ヤマシギ

2022 年 1 月 4 日　ハクビシン

2022 年 1 月 17 日　コジュケイ

2021 年 12 月 17 日　種不明鳥

2022 年 4 月　キビタキ

2021 年 12 月 17 日　種不明鳥拡大

2022 年 4 月　キビタキ拡大

2022 年 1 月 16 日　シジュウカラ

2022 年 1 月 16 日　ウグイス

2022 年 1 月 16 日　シジュウカラ拡大

2022 年 1 月 16 日　ウグイス拡大

2022 年 4 月 6 日　ガビチョウ

2021 年 12 月　シロハラ

2021 年 12 月　シジュウカラ、メジロ

2022 年 4 月 6 日　ヒヨドリ、コジュケイ

2022 年 4 月 6 日　ホンドタヌキ

2022 年 4 月 11 日　ウグイス

2022 年 4 月 6 日　イエネコ

2022 年 4 月 6 日　ウグイス拡大

2022 年 4 月 11 日　ヤマガラ、コゲラ

2022 年 4 月 11 日　ヤマガラ、コゲラ拡大

2022 年 4 月 11 日　キジバト

2022 年 4 月 12 日　カシラダカ

2022 年 4 月 12 日　アカハラ

2022 年 4 月 12 日　カシラダカ拡大

2022 年 4 月 10 日　アオジ

2022 年 4 月 10 日　アオジ拡大

2022 年 4 月 7 日　イエネコ

2022 年 4 月 12 日　マミチャジナイ

2022 年 4 月 13 日　ハシボソガラス

2022 年 4 月 12 日　マミチャジナイ拡大

2022 年 4 月 10 日　シメ

2022 年 4 月 10 日　シメ拡大

2022 年 4 月 13 日　アカネズミ？

2022 年 4 月 13 日　アカネズミ？拡大

2022 年 4 月 17 日　アライグマ

2022 年 4 月 17 日　イエネコ

2022 年 4 月 18 日　カオグロガビチョウ

2022 年 4 月 18 日　カオグロガビチョウ拡大

2022 年 4 月 21 日　ハクビシン

2021 年 12 月 30 日　アライグマ

2021 年 12 月 27 日　ホンドタヌキ

2022 年 1 月 16 日　トラツグミ

2022 年 1 月 16 日　シロハラ

2022 年 1 月 23 日　イエネコ

図 3 トトロの森 54 号地で撮影された動物の写真